

わらべのぞみ だより

第42号
2024 (令和6年) 3月発行

3月の声を聞くと何となく春めいてウキウキと心浮き立つ心地よい気分になりますね。コロナ禍で引きこもりを余儀なくされていましたが、「4年ぶりの開催」とあちこちでいろいろな行事やイベントが開かれるようになりました。参加している子どもたちの嬉々とした表情を見るにつけ、これが子どもたちの本来の姿なのにと、感染症に翻弄されたこの数年を恨めしく思います。子どもたちにとってこの失われた時期は人生の「たからもの」の一部だったかもしれません。コロナ禍しか知らない子どもたちが大きく成長し、全員がマスク姿の異様な光景の写真を見て『こんな時代もあったのか』と笑い話になる時が来るのでしょうか。これからは、楽しい思い出をたくさん作って「たからもの」を増やしましょう。

1年を振り返って



「わらべ」の壁から天井まで続く壁飾り



「のぞみ」の庭で元気に泳ぐこいのぼり



市民ギャラリーから寄付されたおひな様の前で



土曜日に行われた救急救命講座には、パパも参加



つくってあそぼう「ケロケロガエル」で遊ぶ幼児

#スタッフ研修#

「交流サロンの
防災と防犯について」

令和6年3月10日

- ✓ 地震や火事が起こったら、どのように行動するの？
 - ✓ 不審者が来たら、どこから逃げるの？
- わらべ、のぞみのグループに分かれ話し合い、再認識しました



「豆まき」鬼さんこわいよ～、豆を投げてやっつけよう！



♪今年からボランティアとして加わった「パペットとあそぼう」のみなさんを紹介します。両サロンとも 10 組を超える親子が集まり久々のにぎわいとなりました。腹話術に対するママ達の興味があがりがい知れ、スタッフもうれしい限りです。

公演日：わらべ7月28日（金） 1月26日（金）
のぞみ7月3日（月） 1月22日（月）



♪「笑顔の花を咲かせよう」

私達は、公民館の腹話術講座の受講生で平成23年4月に発足し腹話術師京香先生の元、楽しく活動しています。同好会のモットーは「とにかく楽しく和やかに、諦めず一步一步前進」それぞれの持ち味を生かし、これまで介護施設の慰問や地域の各種会合、コミュニティ祭り等で公演をしてきました。最近では、子育て交流サロンでの活動も楽しみの一つです。人形の口がパクパク動いてお話しする様子を不思議そうに観ている子ども達。だんだんと笑顔に変わり、可愛い笑い声が聞こえてくるとみんなハッピー！これからも地域の皆さんとのふれあいの場を大切に、笑顔の種をあちらこちらに蒔いてハッピーの輪を広げていきたいと思ひます。



ママたちから、ひとこと！
子どもの様子は！

- ・おもしろかった ・楽しかった
- ・興味津々で見ている
- ・落ち着いて見る事ができてよかった
- ・集中して聞いていた
- ・年齢が他の子より高かったので、声での対話をしていた
- ・拍手をしてとても楽しそうだった
- ・「歌ってあそぼう」のところは食いついて参加していた

パペットについて

- ・パペットを借りて口をぱくぱくさせたのが楽しかった
- ・ぬいぐるみが好きなのでパペットにさわられてよかった
- ・大きな人形（アンパンマンや男の子）を見ると少し怖がっているようなので、リアルな人は怖いのかな~と思った
- ・大きくて、動く動物を喜んでいるようだ
- ・お人形の「こむぎちゃん」が人気だった



土浦市子育て交流サロン

わらべ Tel Fax 029-825-1030

のぞみ Tel Fax 029-824-8620

（運営委託：土浦市更生保護女性会）